

各位

会社名 フロンティア・マネジメント株式会社
 代表者名 代表取締役会長（CEO）大西 正一郎
 （コード番号：7038 東証プライム市場）
 問合せ先 執行役員 コーポレート推進部長 濱田 寛明
 （TEL. 03-6862-5180）

東証プライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画（改善期間入り）に基づく進捗状況 及びスタンダード市場への市場区分変更申請に向けた準備開始に関するお知らせ

当社は、2025年3月27日に、「東証プライム市場の上場維持基準の適合に向けた計画書（以下、「計画書」という。）」を提出しており、2025年12月31日時点における計画の進捗状況について、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社は、プライム市場への適合計画を進捗させることと並行し、2026年12月末までにスタンダード市場への市場区分変更申請をするため準備を開始することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2025年12月31日基準日時点における東証プライム市場の上場維持基準への適合状況は、その推移を含め、下表のとおりとなっております。「流通株式時価総額」については基準に適合していません。

なお、流通株式時価総額基準について、2026年12月31日までの改善期間内に適合していることが確認できなかった場合には、東京証券取引所より監理銘柄（確認中）に指定されます。その後、当社が提出する2026年12月31日時点の分布状況表に基づく東京証券取引所の審査の結果、流通株式時価総額基準に適合している状況が確認されなかった場合には、整理銘柄に指定され、当社株式は2027年7月1日に上場廃止となります。

当社は基準に適合していない流通株式時価総額の向上について、引き続き各種取組を進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金	純資産の額
当社の適合状況及びその推移	2023年12月末基準日時点 ※	3,339人	69,513単位	106億円	59.2%	0.82億円	37億円
	2024年12月末基準日時点 ※	4,974人	69,287単位	67億円	58.9%	0.91億円	27億円
	2025年12月末基準日時点 ※	5,486人	68,498単位	46億円	57.9%	0.34億円	17億円
上場維持基準		800人	20,000単位	100億円	35.0%	0.20億円	純資産の額が正
2025年12月末基準日時点の適合状況		適合	適合	不適合	適合	適合	適合
計画期間				2026年12月末			

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況及び評価（2025年3月～2025年12月）

当社は、上場維持基準の適合に向けた取組みの基本方針として、流通株式時価総額100億円以上の実現に向けて、まずは収益性改善による「親会社株主に帰属する当期純利益の最大化」に取り組むこととともに、市場との対話の機会を充実させ、当社の人的資本に基づく事業成長性の発信を通じて「PERの向上」も並行して働きかけていく旨を掲げました。

「親会社株主に帰属する当期純利益の最大化」につきましては、ハンズオン経営執行支援、製造業系

の包括業務変革型支援、ならびにM&A事業の回復等、堅調なオーガニック成長により利益を増進するとともに、当社ソリューションの更なる成長に資する事業群へのM&A及びロールアップ投資を適正なレバレッジの活用下で推進し、株主価値を高めて行くため、各種施策に取り組んでまいりました。

また、「PERの向上」につきましては、機関投資家とのIR・SRミーティングの充実、IR開示内容の充実を通じて、当社の事業成長性をより正しく評価いただける働きかけを行ってまいりました。

一方、2025年12月期におきましては「構造改革施策」として、①コンサルティング系部門再編による収益性向上に向けた体制整備、②国内・中規模M&Aパイプラインの再強化、③フロント4部門一体連携ソリューション提供へのシフト、④組織的なアカウント・カバレッジ網拡大への営業改革、⑤コーポレート部門改変による全社戦略・統括能力拡充、⑥フロンティア・キャピタルの投資拡大による収益の生成を軸として取り組んだ結果、組織改編・業務効率化は進捗しており、足元の収益性は改善傾向にあります。

なお、2026年12月期以降は、本日公表した「2026-2028年度中期経営計画」に基づいた企業価値向上を目指して参ります。

3. スタンダード市場への市場区分変更申請に向けた準備開始の理由

当社は、経営コンサルティング事業、M&Aアドバイザー事業および投資事業を通じて、企業価値向上に資する専門サービスを提供してまいりました。現在、中長期的な成長戦略をより着実に推進する観点から、当社の事業規模および成長フェーズに最適な上場市場区分について検討を行っております。

東京証券取引所の市場区分見直し以降、各市場には明確な市場コンセプトが提示されており、プライム市場は「多くの機関投資家の投資対象になりうる規模の時価総額（流動性）を持ち、より高いガバナンス水準を備え、投資者との建設的な対話を中心に据えて持続的な成長と中長期的な企業価値の向上にコミットする企業向けの市場」、スタンダード市場は「公開された市場における投資対象として一定の時価総額（流動性）を持ち、上場企業としての基本的なガバナンス水準を備えつつ、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上にコミットする企業向けの市場」として位置付けられています。

そのような中、当社は自社の事業規模、成長フェーズ、並びに今後の経営戦略との整合性を総合的に検討した結果、現時点においてはスタンダード市場の市場コンセプトが当社の志向と最も合致しているとの判断に至りました。

スタンダード市場への市場区分変更により、当社は、本業である各事業の競争力強化、人材投資および成長分野への戦略的投資等に経営資源をより重点的に配分し、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を目指してまいります。

なお、市場区分変更後においても、上場会社としてのコーポレート・ガバナンスや情報開示の姿勢に変更はなく、株主・投資家の皆様との建設的な対話を重視したIR活動を引き続き積極的に行ってまいります。

株主はじめステークホルダーの皆様方にはご理解をいただき、相変わらずご支持賜りますようお願い申し上げます。

【スタンダード市場の上場維持基準への適合状況】

当社の2025年12月31日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、当社試算ベースでは下表のとおりすべての基準を充たしております。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	月平均売買高	純資産の額
当社の適合状況 2025年12月31日※	5,486人	68,498単位	46億円	57.9%	10,160単位	17億円
上場維持基準	400人以上	2,000単位以上	10億円以上	25%以上	10単位以上	純資産額が正
適合状況	適合	適合	適合	適合	適合	適合

※基準日を2025年12月31日と仮定し、当社が把握している当社の株券等の分布状況等をもとに試算したものです。

以上